



**Q** 水道水からカビ臭や塩素臭がしますが、  
使用して大丈夫ですか？

**A** 水道水のカビ臭は、水源であるダムや河川等にすむプランクトンが自然に作り出すものです。浄水場では活性炭を使用してカビ臭を取り除いていますが、少しにおいが残る場合があります、においに敏感な方は臭気を感じることもあります。

水道水の塩素臭は、水道水の消毒に使用する「次亜塩素酸ナトリウム」という薬品によるものです。水道水は水道法により塩素消毒が義務付けられているため、塩素臭を完全になくすることはできません。



どちらも人体への影響はありませんので、安心してご使用ください。においが気になる場合は水道水をやかんなどに入れ、ふたを開けた状態で5分程度沸騰させた後、冷蔵庫で冷ますことにより、においを和らげることができます。ただし、一度沸騰させた水道水は消毒効果が無くなりますので、冷蔵庫などに入れて早めにお使いください。

その他にも水道水に関するトラブルについてHPに掲載しております。よろしければご確認ください。

教えて！水道水のトラブル！？

検索



## 水道施設で使われている 機器について紹介します！

今号では、  
遠方監視制御装置  
について  
紹介します。



上下水道局では、いつでも安全な水道水をお客さまにお届けするために、市内全148箇所にも及ぶ水道施設の運転管理を、24時間365日、長府浄水場中央管理室の遠方監視制御装置を中心として、遠隔により行っています。装置と無人の水道施設が通信を行うことで、遠く離れた水道施設を監視・操作することができます。これにより、水道施設の突発的な故障発生時にも迅速な対応が可能となっています。

市内全体の水道施設の運転状況を把握するため、常時、配水量や配水池の貯水量、水質など様々な情報を収集し、運転を管理することで、お客さまへ安全な水道水を安定的に供給しています。また、配水池に送水するポンプなどの運転は、配水池の貯水量に応じて自動化することで、常に一定量以上を貯水するようにしていますが、水道管の漏水や設備の故障など、異常が発生した際には、遠隔操作によりポンプを緊急停止したり、故障の発生状況を確認したりすることで、水道水の供給に支障をきたすことがないように努めています。

